

■現行計画の体系

分野別の目標	基本的な方向
1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
	(2) 学習や活動ができる環境の提供
	(3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり
	(4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり
2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実	(1) 学習情報の収集・整理
	(2) 分かりやすい情報提供
	(3) 相談体制の整備・充実
	(4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり
3 区民・団体の主体的な活動の支援	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
	(2) 活動成果披露の場の仕組みづくり
	(3) 人材育成の推進
	(4) 人材活用の推進

■新しい体系における課題認識(案)

分類	概要
学習(講座への参加)	より広い層の区民が講座に参加できるようにする
	子ども・若者・働き手・子育て世代・団塊の世代・外国人・障害者の学びの機会の提供
学んだことの活用	学ぶことと、学んだことを活かすことをスムーズに接続する
	支援者のすそ野を広げ、多様な知識・能力を持った人を活用する
	生涯学習事業・地域活動への区民参画を進める
仲間づくり	学ぶ人たちからなるコミュニティを形成し、相互に学び合うことを促す(学ぶことを活かすための足掛かり)
	コミュニティ・サークル同士の交流を促し、コミュニティを広げ、開放的なネットワークをつくる
共通	生涯学習の場・情報提供の場としての図書館と連携する

■新しい体系(案)

1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	
(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実	○講座の拡大・質の向上に取り組んでほしい。
(2) 学習や活動ができる環境の提供	○学べる場所・活動できる場所が少ない。
(3) ライフスタイルに応じた学習機会の充実	○子育て中の講座参加者が少ない。仕事に追われて時間の余裕がない。 ○興味ある講座のタイミングが合わない。土日の講座が少ない
(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり	○図書館で生涯学習の情報を集約・整理し、案内してもらえるとよい。
2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	
(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり	○講座受講後のフォローがあるとよい。 ○学んだことを活かすことへの接続について、アカデミー推進課と他の部署との連携によって、スムーズに行える仕組みづくりができるとよいのではないかな。
(2) 活動成果披露の場の充実	○学びをアウトプットできる所・機会が少ない。 ○大事なのはサークル同士が交流する場をより充実させることだと考えている。交流を広げる場があれば、区民自身が学び、コミュニティを広げていく。
(3) 人材活用の推進	○区内には豊富な人材が揃っている。人材活用の機会が少ない。 ○生涯学習司を広められるとよい。
3. 学びを継続し、生きがいにつなげるための仲間づくり	
(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進	○学びを活かしたコミュニティづくり。 ○テーマ型コミュニティという考え方で、地域を超えてサークルをつないでいけるとよい。 ○団体・サークル同士の交流の機会があるとよい。
(2) 地域で支える学習環境の充実	○「ふれあいサロン」など区民の活動を増やし、活用するための仕組みづくり。 ○アカデミー文京・地域アカデミーを活用できるとよい。
(3) 学び合いを支え、活動に展開するための情報提供・支援	○講座を受講する層が固定しがち。 ○学習・活動に使える情報がわかりにくい ○生涯学習は終わりがあつたものではないので、アウトプットと同時に学ぶことも重要なのではないかな

○現行計画を引き継ぐ「学習(講座への参加)」と「学んだことの活用」に、「仲間づくり」について分類を加えました。

理由(1)生涯学習を通じた仲間づくりが区民の豊かな学びにおいて重要だと考えたからです。

理由(2)「学習」と「活用」をつなぐ役割を「仲間づくり」が担っていると考えたからです。

○現行計画の「3-(3)人材育成の推進」と「3-(4)人材活用の推進」は新しい体系(案)では「3-(4)人材活用の推進」という目標の下で一つにまとめています。豊富な人材が揃う文京区では、今後活躍の場が求められると考えたからです。

○情報発信に関する取組みは、「3. 学びを継続し、生きがいにつなげるための仲間づくり」にて基本的な方向性のレベルで配置しています。講座や情報提供は、事業レベルでも掲載します。